

シャフストン インターナショナル



研修地: *Shafston International college*

茨城県立取手松陽高等学校



海外研修オーストラリア ブリスベン



- ・専門講師より英語を学ぶ語学研修
- ・滞在はブリスベン市内でのホームステイ
- ・オーストラリアの動物や文化体験
- ・事前、事後研修で学びを深める

実施概要

日程：2018年12月16日（日）～12月23日（日）8日間

募集人員：20名

旅行代金：生徒1名様あたり268,000円

（人数が10名に達しない場合は中止になることがあります）

ご日程表

日次	月 日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2018年 12月16日 (日)	東京（成田）発	18:00 20:25	各 自 JQ012	成田空港第3ターミナルに集合 搭乗手続き ゴールドコーストへ向けて出発 ＜機中泊＞	タ：機内
2	12月17日 (月)	ゴールドコースト着	06:25	専用バス	到着後、ブリスベンへ オリエンテーション後、キャンパスツア ー及びレベルチェックテストあり 夕刻ホスト宅へ移動 ＜ホームステイ＞	朝：機内 昼：○ タ：○
3	12月18日 (火)	ブリスベン	午 前 午 後		◆英語研修 ◆クイーンズランド博物館 ＜ホームステイ＞	朝：○ 昼：○ タ：○
4	12月19日 (水)	ブリスベン	午 前 午 後		◆英語研修 ◆ブリスベシティツアー ＜ホームステイ＞	朝：○ 昼：○ タ：○
5	12月20日 (木)	ブリスベン	午 前 午 後		◆英語研修 ◆ローンパインコアラ保護区訪問 ＜ホームステイ＞	朝：○ 昼：○ タ：○
6	12月21日 (金)	ブリスベン	午 前 午 後 夕 刻		◆英語研修 ◆移動動物園 ◆さよならパーティー ＜ホームステイ＞	朝：○ 昼：○ タ：○
7	12月22日 (土)	ブリスベン	終 日		ホストファミリー宅 ＜ホームステイ＞	朝：○ 昼：○ タ：○
8	12月23日 (日)	ブリスベン ゴールドコースト着 ゴールドコースト発 東京（成田）着	朝 10:30 18:30	専用バス JQ011	ゴールドコースト空港へ移動 搭乗手続き 空路、成田へ 到着後、解散	朝：○ 昼：機内 タ：機内

ご注意 発着時間・交通機関等・現地プログラムの内容・場所に変更になる場合がございます。

利用航空会社：JQ（ジェットスター）

研修地『ブリスベン』について

クイーンズランド州の東部の海岸沿いに位置し、シドニー、メルボルンに次ぐオーストラリア第三の都市です。温暖で1年中過ごしやすい『サンシャイン・シティ』とも呼ばれています。市内を流れる『ブリスベン・リバー』に沿って広がる美しい町並みは緑が多く、落ち着いた雰囲気海外研修を行うには最適の環境が整っています。現地の方々との交流を通じて、充実した研修内容となることをお約束いたします。

現地語学学校 Shafston International College

シャフストン・インターナショナル・カレッジはブリスベン川岸の静かな場所に位置し、市内中心部から車で5分の距離にありながら、緑豊かなキャンパスを有する学校です。キャンパス内ではオーストラリアの学生が受講する専門コースも併設されているため、1000名近い学生が学んでいます。学校内にはパソコンなどの設備も整っており、E-mail やインターネットが無料で利用できます。また現地スタッフが24時間体制で対応するため、緊急時の対応も迅速に行うことができます。学校まではホストファミリーが毎日送迎いたします。



旅行企画・実施：(株)JTB 関東法人営業茨城南支店

観光庁長官登録旅行業第1578号／総合旅行業務取扱管理者：成海 剛／担当：永野 寛之

〒305-0032 つくば市竹園2-2-4 第2・ISSEI・ビル3F Tel:029-860-2871/Fax:029-854-1664

営業時間：平日9:30～17:30 定休日：土日祝日



オーストラリア情報

まずはじめは、オーストラリアに行く前に知っておきたいことを、基本情報としてまとめましょう。

世界で6番目に広い国

オーストラリアの面積は769万km²で、日本の21倍近くになります。世界6大陸のなかでは最小の大陸ですが、南北の長さ約3,700km、東西は4,000kmほどです。最北端は、南緯10度41分のヨーク岬で、最南端は、南緯43度39分のタスマニア岬のサウス・イースト岬。南回帰線をはさみ、緯度の差が30度以上もあります。

平均標高は330mほどで、地形は比較的平坦です。東部には、グレートディバイディング山脈がそびえています。中央部から西部にかけては平地や台地が広がり、グレートビクトリア砂漠やグレートサンダーレーヌ、大鹽井盆地・とよはれるグレートアーチジャン盆地などがあります。

オーストラリア大陸は、四方を海に囲まれています。東は太平洋、西はインド洋、南は南極海に面し、北西部の沿岸には、グレート・リバー・リーフとよばれる大規模なサンゴ礁の海が広がっています。



タスマニアの原生林。

※ 土壌とは、地下を深く掘って地下水をわき出させる掘り抜き井戸のこと。大鹽井盆地では、水を通しにくい地層にはさまれ、強い圧力を受けた地下水が、井戸を掘ると自然に噴き上がる。

熱帯、温帯、乾燥帯の3つの気候が分布

世界の気候は、気温と降水量により、熱帯、温帯、冷帯、寒帯、乾燥帯の5つに区別されています。そのうちオーストラリアには、熱帯、温帯、乾燥帯の3つの気候が分布しています。

一般的に、南回帰線から北の地域は、1年をとおして温暖で、沿岸部では降水量が多くなります。南回帰

線から南の地域は、1年をとおして温暖なものの降水量は少なく、南へ行くほど四季の変化が感じられます。中央部には、高温多雨の乾燥帯（砂漠やステップ）が広がっています。

☑️ = 月別平均気温（℃）
☑️ = 月別平均降水量（mm）

☑️ = 年間降水量

ケアンズ（熱帯）	ゴールド・コースト（温帯）	メルボルン（温帯）	アデレード（温帯）
☑️ 32℃（12月～2月） ☑️ 16℃（7月・8月） ☑️ 2224mm（12月～3月の雨季）	☑️ 28℃（1月） ☑️ 11℃（7月） ☑️ 1574.3mm	☑️ 26℃（1月・2月） ☑️ 6℃（7月） ☑️ 649.1mm	☑️ 28℃（1月・2月） ☑️ 7℃（7月） ☑️ 457mm
ダーウィン（熱帯）	シドニー（温帯）	ホバート（温帯）	パース（温帯）
☑️ 33℃（4月・9月～12月） ☑️ 19℃（7月） ☑️ 1708mm（4月～10月の雨季）	☑️ 26℃（1月・2月） ☑️ 8℃（7月） ☑️ 1215mm	☑️ 26℃（1月・2月） ☑️ 5℃（6月～8月） ☑️ 620.1mm	☑️ 31℃（2月） ☑️ 8℃（7月） ☑️ 865.8mm

日本との時差が少ない

日本から見るとオーストラリアは、赤道を越え、ほぼ真南にありまます。そのため、日本とは季節が反対ですが、大きな時差はありません。しかし、国土の東西の距離が日本よりも長いため、オーストラリア国内には、3つの時間帯があります。具体的には、GMT（グリニッジ標準時）よりも、東部が10時間、中部が9時間30分、西部が8時間、それぞれ早くなっています。また、夏時間を採用している州もあります（8～9ヶ月間）。

移民を受け入れている

国の統計（2013年10月現在）によると、オーストラリアの人口は2,325万人です。その多くが、沿岸部の平野に開けた都市部に暮らしています。また、移民を多く受け入れてきたため、人口の4人に1人が外国生まれです。1960年代には、移民の約45%はイギリスやアイルランド出身者でしたが、最近の調査では17%程度になっています。中国をはじめとしたアジア太平洋地域や、アフリカ、中東諸国など、様々な国からの移民が増えています。

英語のほかにも

用語は英語です。また、初等教育と中等教育（日本の小学校から高等学校にあたる）では、外国語の授業があります。授業では、日本語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ギリシア語など、幅広く教えられています。

ユニオンジャックがついている

旗は、青地にユニオンジャック、その下に大きな七角星（七角星）、右側に5つの星からなる南十字星を描いています。ユニオンジャックはイギリスとの歴史的な絆、七角星は連邦（6州と連邦）、南十字星は南半球にあることを表しています。



おれがすけて見える

貨は、オーストラリア・ドルとセントです（1ドル=100セント）。紙幣はポリマー加工のプラスチック製で、100ドル、50ドル、20ドル、10ドル、5ドルの5種類です。カラフルな色が使われています。コインは、2ドル、1ドル、50セント、20セント、10セント、5セントの6種類で、オーストラリア固有の動物の絵柄が入っています。



日本と同じく車は左側通行

大抵オーストラリア内を移動するには、主要都市を結ぶ航空機の利用が一時的です。鉄道は、主要都市とその周辺に発達していて、特長はわかるものの、列車設備が自慢の大規模な横断鉄道もあります。なお、車は日本と同じく左側通行です。

公

広



もっと詳しく知る

オーストラリア政府観光局 教育旅行サイト
(<http://www.travelvision.co.jp/schoolaustralia/>)
知る・学ぶ ページを見てください。

日本にやって来たオーストラリア人

江戸時代末期に日本が開国すると、横浜の外国人居留地に、オーストラリアジャーナリストが、「ザ・シバニヤ・カフェ」などの英字新聞を発行。その息子ヘンリー・ラッパは、のちに愛語家となり、「快楽夢アラック」と名乗ったことで知られています。また、明治維新から20年が経過した1888年に来日したジェームス・マードックは、夏目漱石の教えずとなり、日本で教師となりました。彼は晩年後、オーストラリアの日本語教育の基礎をつくりました。

事末の開国により設けられた横浜の外国人居留地の様子。

 オーストラリアに渡った日本人

オーストラリアに受けた最初の日本人は、東京から明治初めに活躍した田舎の一家では、好い味と考えられていますが、公試には、メルボルンで開催された万国博覧会への出展のため、1873年に現地に派遣された人々が最初に連れていきました。その後、真珠貝の採取やさとうきび農場での労働のため、日本人の入植が始まりました。その数は、多いと推定され、1,000人以上にもなりました。真珠貝の採取で、

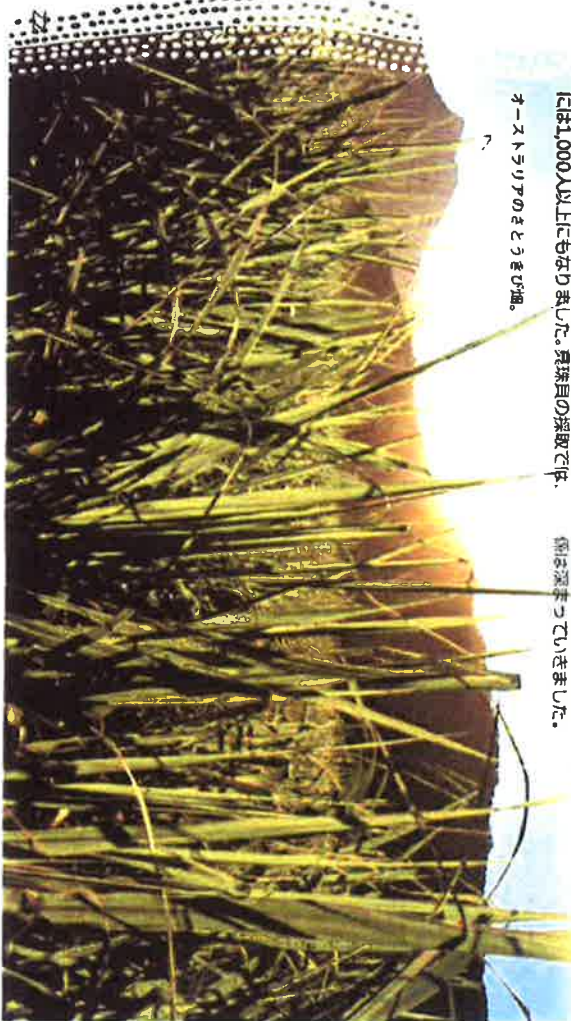
オーストラリアのさとうきび畑。



附錄四：臺灣省各縣市人口統計表

クイーンズランド州の本曜島や西オーストラリア州の
パールムなどか拠点となりました。

1890年には兼松房次郎商店（いまの兼松株式会社の前身）を現地に支店を開設し、羊毛の輸入を始めた。そして、1905年にはオーストラリアに渡った高須賀賀が、ビクトリア州で米の栽培に成功したりするなど、多くの日本人がオーストラリアに渡ったことで、西国の開拓は深まっていきました。



第二次世界大戦では敵対関係に

戦争が始まると、日本から移住した人々は収容所に送られ、捕虜となった日本兵も収容所に入れられました。1944年、ニュー・サウス・ウェールズ州のカウラにあった収容所では、捕虜となったことを疑ったと考えた約1,000人の日本兵が集団脱走を試み、231人が亡くなるという悲しい事件が起きました。しかし、戦後は現地の人々により日本人墓地がつくられ、桜が植樹されています。いまカウラには、西側の平和を祈る桜が、10月の州祭りの時期に行なわれています。

戦後は友好関係を構築

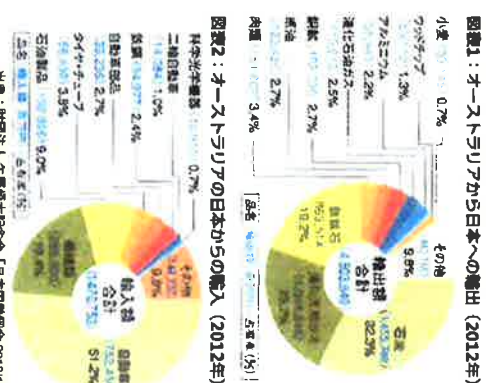
戦後、日本は連合国の支配下に置かれ、1万人ほどのオーストラリア兵が留りました。1951年のサンフランシスコ講和会議で平和

条約が結ばれると、両国の国交は回復しました。さらに、1957年に日露通商協定が結ばれると、貿易を中心とした交流が活発になります。

易相手国では、輸出額の2割近くを日本が占めている。輸出トップにうって日本は最大の貿易相手国である。

また、輸出額が大きい国は、輸入額も大きい。日本への輸出品目のなかでは、石炭、液化天然ガス、鉄鉱石など、資源が多くな割合を占めます（図表14参照）。一方、日本からの輸入品目のなかでは、自動車や機械などが多くの割合を占めています（図表15参照）。

また、貿易だけでなく、人と人との交流も盛んです。オーストラリアと姉妹関係や友好関係を結んでいる日本の都市や学校は数多います。さらに、日本で働きたがら休暇を楽しむワーキング・ホリデーという制度を利用してオーストラリアに渡る青少年も多く、民間レベルでの交流も活発で、両国の関係は一層深まっています。



図表1：オーストラリアから日本への輸出（2012年）

図表2：オーストラリアの日本からの輸入（2012年）

オーストリアの露天掘りによる石灰質の崩壊。



オーストラリア政府観光局 教育旅行サイト
(<http://www.travelvision.co.jp/schoolaustralia/>)
「知る・学ぶ」ページの「歴史と文化」を見てみましょう。